

2018年10月26日

広ダイナミックレンジで臨場感のある高精細映像
世界初※1の8K有機センサーを搭載した、8Kカメラシステムを開発
多彩な運用が可能なマルチパーパスカメラ



2018年10月 パナソニック株式会社

品名	8Kマルチパーパスカメラ	イメージプロセッシングユニット
品番	AK-SHB810	AK-SHU810
発売時期	2019年秋	2019年秋

パナソニック株式会社は、世界初※1の8K有機センサーを搭載した、8Kカメラシステムを開発しました。2019年秋の発売を予定しています※2。

8KマルチパーパスカメラAK-SHB810はPLLレンズマウントを採用した小型軽量のボックスタイプカメラです。世界初※1となる8K有機センサーを搭載。有機薄膜を光電変換部に用いた積層構造により、効率的な光電変換と電荷蓄積を両立。8Kの高解像度で明暗差に対応する広ダイナミックレンジ、スキュー歪やフラッシュバンドの無いグローバルシャッター※3、電子NDフィルター機能を実現しました。

カメラユニットと、光ファイバーケーブルで接続するイメージプロセッシングユニットAK-SHU810からは、8K/4K/HDの映像出力が可能です。従来以上に高画質な8K映像と小型軽量のマルチパーパスカメラの汎用性により、放送と映像制作の幅広い用途に対応いたします。

当社では、昨年には8KスーパーハイビジョンレコーダーAJ-ZS0580を発売するなど8K機器の開発・提供を進めてきました。今後とも2020年を見据え、実運用に耐えうる4K/8K機器・システムを開発し、放送制作の高画質化および放送業務の効率化をサポートし、放送業界の発展に貢献してまいります。

なお本開発機は、2018年11月14日(水)から11月16日(金)まで千葉県・幕張メッセで開催される2018年国際放送機器展「Inter BEE 2018」に参考出展いたします。

※1:2018年10月現在当社調べ。有機薄膜を光電変換部に用いた蓄積構造の画像処理センサーとして。

※2:受注から納品まで約半年のお時間を頂きます。

※3:グローバルシャッターはシャッタースピードが1/120より高速の場合のみ動作します。

<主な特長>

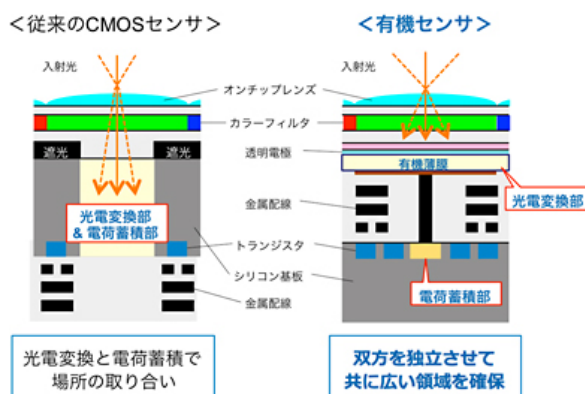
1. 8K高解像度で明暗差に対応した広いダイナミックレンジを実現
2. グローバルシャッター(全画素同時露光)によりスキュー歪、フラッシュバンドを防止
3. 簡易的な電子NDフィルター機能を搭載し、撮影の自由度が向上

【お問い合わせ先】

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
 メディアエンターテインメント事業部 マーケティングセンター 商品マーケティング部 マーケットコミュニケーション課
 TEL:06-6905-4640(直通)

1. 8K高解像度で明暗差に対応した広いダイナミックレンジを実現

新開発の有機センサーは光電変換部に有機薄膜を用いることで、電荷蓄積部を下層に配置した積層構造を実現。それぞれが完全に独立した構造により、光電変換と電荷蓄積をともに効率的に両立します。まず光電変換部においては受光部の面積が拡大し、明暗差に対応した広いダイナミックレンジを実現します。たとえばスタジアムにおける、日差しが強いフィールドと日陰になる観客席といった明暗差の大きなシーンでも、8K高解像度での撮影が可能となります。



2. グローバルシャッター(全画素同時露光)によりスキュー歪、フラッシュバンドを防止

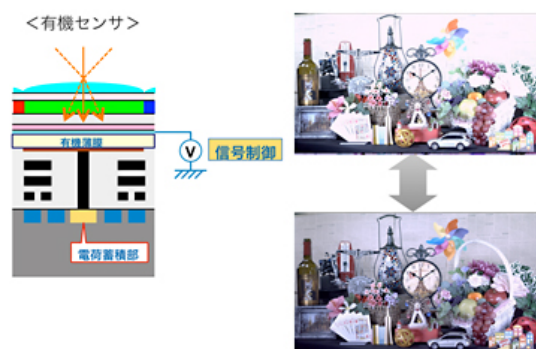
電荷蓄積と読み出しの効率化により、全画素を同時露光するグローバルシャッターの搭載を可能にしました。これにより、ローリングシャッターモード時のスキュー(高速で動く被写体でスキュー歪が発生する現象)、フラッシュバンド(露光中のフラッシュにより画面の上下で明暗差が生じる現象)がない、正確な撮像を可能にします。



※シャッタースピードが1/120より高速の場合のみ動作します。

3. 簡易的な電子NDフィルター機能を搭載し、撮影の自由度が向上

有機センサーは、有機薄膜に加える電圧を制御することで感度を変更できます。電子NDフィルターは連続的な無段階の感度設定が可能であり、撮影の自由度がより向上しています。



以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。